

山梨県歯科医師連盟

連盟ニュース 第73号

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手1-4-1

TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854

□発行人 一瀬 明 HP: <http://ydpf.jp>

□編集人 一瀬 明・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

2022年度関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会**要望に対する回答について**

令和4年11月12日に行われた、2022年度関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会において報告された要望書(令和4年11月15日付 茨歯連発第118号にて提出)につきまして、日本歯科医師連盟より回答がありましたので、ご報告いたします。

(以下、要望書に対する回答書)

1. 山田宏議員はこれまでの6年間で「骨太の方針」への歯科の導入や「歯科口腔医療勉強会」さらに「国民皆歯科健診」の導入に向けた歯科議連の立ち上げなど数々の実績を残してこられた。山田宏議員が取り組まれていることをさらに推進するために、日本歯科医師連盟は日本歯科医師会とともに更なる連携の強化をお願いしたい。

【回答】

日本歯科医師連盟の事業計画の活動の一つが、日本歯科医師連盟顧問である山田宏議員、比嘉なつみ議員をはじめとした歯科界に理解のある議員との連携強化である。今後も日本歯科医師会とともに、関係議員との一層の緊密な関係構築を図っていく。

2. 日本歯科医師連盟の顧問である山田宏議員、比嘉奈津美議員ならびに関口昌一議員や島村大議員とも連携を密にして、歯科界の発展のために強力な支援をお願いしたい。

【回答】

現在、日本歯科医師連盟顧問の二名の議員はもとより、歯科医師の国会議員である関口昌一議員、島村大議員ならびに渡辺孝一議員、その他歯科医療に理解のある議員とも連携を密にしており、今後も連携強化を継続していく。

3. 山田宏議員は歯科医師ではないが政治に精通したプロフェッショナルな政治家である。会員にその活動をより理解していただくために、広報活動や会員との交流・意見交換のできる場を設けることに尽力いただきたい。

【回答】

現在行っている広報活動はもとより、デンタルミーティング、シティーデンタルミーティング等を通じて会員との交流・意見交換のできる場の拡充を進めて参りたい。

4. 今回は「中央後援会」を設置せずに「山田宏後援会」が選挙活動の中心となったため指揮系統がはつきりせず、また資金面の問題からか運動員の不足等により活動の遅れも見られた。今後の見直しが必要と思われる。

【回答】

今回も「中央後援会」を設置せずに都道府県連盟と協力し選挙活動を行った。今後より明瞭かつ効果的な選挙活動を展開できるように、更に都道府県歯科医師連盟に理解を求めて参りたい。

5. 今回の参議院議員選挙では、リーガルチェックが優先され選挙活動を違反無く行う事ができた。しかし一方後援会活動・選挙活動が消極的になった一面も見られたので、もう少し幅広い活動ができる可能性を追求してもらいたい。

【回答】

歯科医師連盟の活動は違反が全く無い事が重要な要件であることは間違いない。一方で連盟活動並びに選挙活動が成果のあるものでなければならない。今後もこれらを踏まえ幅広い活動を慎重に進めて参りたい。

6. 政治活動の重要性など会員の医政への関心をさらに高める努力が必要であると思われる。広報等の活用を充実して会員への周知を図るようお願いしたい。

【回答】

会員の政治活動への理解が進み、医政への関心がさらに高まるための一助として「政治セミナー」を年二回開催している。もちろん広報等でもその点に力を入れているのは申すまでもない。

7. コロナ禍の選挙で会合計画等が十分にできなかったこともあるが、今回中心となったSNSの活用やはがきやパンフレットの配布などの効果を十分検証して今後の選挙活動に生かしていただきたい。

【回答】

SNSの活用やはがきやパンフレットの配布などの効果を見極めながら、今後の連盟活動や選挙活動にさらなる活用を考えて参りたい。